

沖縄の闘いを支援する 講演と映画のつどい

沖縄からの報告

不当弾圧を打ち破る

辺野古・高江の闘い

沖縄平和運動センター議長

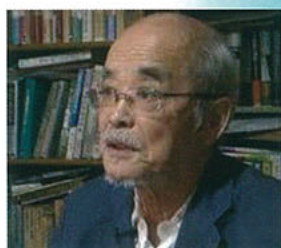
山城博治氏



特別発言

沖縄・南西諸島における

米日の軍備強化の実態— 沖縄の核は？



元沖縄大学客員教授
元東京国際大学国際関係学部教授
前田哲男氏



この映画の明るさはずいぶんいい。
抵抗し、こぼれ抜けないから、人々は歌う、踊る、笑う。一人一人が昂然と胸を張っている。みんなのあふれ出す命の輝きに胸打たれ畏敬の念を覚える。本土から派遣された機動隊員の顔の死んだような無表情に、私たち本土の人間の沖縄に対するうしろめたさを重ね合わせずにはいられない。辺野古・高江だけでなく、沖縄県の島々を自衛隊が新たに基地化し、国は沖縄全体を仮想敵国の標的にする気なのだ。この映画はそれを教えてくれる。

高畑 勲
アニメーション監督

この砦が、最後の希望
辺野古・高江・宮古・石垣— 五重鎮のうち、
最も大切なこの島の、自由と平和をめぐり、
戦い続ける。

「標的の村— 戦場の止み」
三上智恵監督 最新作

2017 9月3日 日

埼玉会館大ホール

参加費 ▶ 1,000円 ※当日のプログラムは裏面をご覧ください。

- 共催 沖縄の闘いを支援する埼玉県民の会
埼玉県反核医師の会
埼玉県民主医療機関連合会
- 連絡先 沖縄の闘いを支援する埼玉県民の会
(事務局)医療生協さいたま本部・まちづくり推進課 ☎ 048-296-5408

開場11時 パネル展示「辺野古・高江の今」/ホワイエ
プレ企画 12時 ①展示パネルの解説/ホワイエ
12時30分 ②沖縄の歌と踊り 三種のかなで/大ホール
開会13時 — 終了16時30分



沖縄の闘いを支援する講演と映画のつどい

日時 2017年9月3日(日) 午前11時開場 13時開会 16時30分終了予定

会場 埼玉会館大ホール

目的 沖縄-辺野古・高江の反基地の闘いに連帯し、米日一体となった南西諸島の軍事基地化の実態を学ぶ

●プログラム

11:00 開場

パネル展示「辺野古・高江の今」／ホワイエ

12:00-12:55 プレ企画

(12:00～) ①奥間政則氏による展示パネル「辺野古・高江の今」の解説／ホワイエ

(12:30～) ②沖縄の歌と踊り、三線のかなで／大ホール

講演と映画のつどい

13:00-13:55 報告と沖縄からのメッセージ

◇主催者あいさつ

◇沖縄からの報告① 土木専門家から見た辺野古新基地・高江ヘリパッドの問題点
奥間政則氏 高江ウッズメンバー・一級土木施工管理技士

◇沖縄からの報告② 不当弾圧を打ち破る辺野古・高江の闘い
山城博治氏 沖縄平和運動センター・議長

◇メッセージの紹介

翁長沖縄県知事、稲嶺名護市長、沖縄選出国會議員他

— 休憩 —

14:05-16:05 映画「標的の島-風かたか」(三上智恵監督作品) 上映(120分)

16:05-16:25 特別発言 “沖縄・南西諸島における米日軍備強化の実態—沖縄の核は?”

前田哲男氏 元沖縄大学客員教授・元東京国際大学国際関係学部教授

16:25-16:30 閉会挨拶

●参加費 1,000円

○書籍、ポスター、パンフレット、CD等の販売や署名活動も行います。

■共催／沖縄の闘いを支援する埼玉県民の会 埼玉県反核医師の会 埼玉県民主医療機関連合会

■連絡先 ☎048-296-5408 FAX048-294-1601 〒333-0831 埼玉県川口市木曾呂1317

(事務局) 医療生協さいたま本部・まちづくり推進課

「標的の村」「戦場ぬしみ」三上智恵監督 最新作

標的の島 風かたか

沖縄県民の8割の反対を黙殺した辺野古の新基地建設、全国から1000人の機動隊を投入して高江で強行されるオスプレイのヘリパッド建設。現場では多くの負傷者・逮捕者を出しながら、激しい抵抗が続く。さらに宮古島、石垣島でミサイル基地建設と自衛隊配備が進行していた。

なぜ今、先島諸島を軍事要塞化するのか？

それは日本列島と南西諸島を防波堤として中国を軍事的に封じ込めるアメリカの戦略「エアシーバルト構想」の一環であり、日本を守るためではない。基地があれば標的になる、軍隊は市民の命を守らないそれは沖縄戦で歴史が証明したことだ。だからこそ、この抵抗は止まらない。映画は、伝えきれない現実を観るものに突きつける。

この砦が、最後の希望 —

辺野古・高江・宮古・石垣——なぜ闘うのか？
壊れかけたこの国の、自由と平和をめぐる「最前線」

